

おっちゃんだより

一番うれしかったこと

私、東岡は 40 年前から「角松敏生」というミュージシャンのファンで同じファンのお阪の友人からコンサートが開催される度に「KADOMATHU」と書いてある T シャツを頂いていました。着るのがもったいなかったのですが 2 年前から炊き出しにその T シャツを着るようになりました。2 年前のある炊き出しの日に野宿している方が私に声をかけてきました。「変な事きいてもいいですか?」と「いいですよ!」と答えると「角松敏生のファンですか?」と聞かれました。私はびっくりして「そうです

よ!」とその声をかけてくれた上野さんと言う人と意気投合しました。それから炊き出しで会うたびに、角松敏生の話で盛り上がりました。昨年私がコンサートに言った話をし、「来年は一緒に行きましょうね!」が合言葉

みたいになりました。それから上野さんはアパートに入り、仕事を探し、スマホデビューしました。そして今年、上野さんが角松敏生のコンサートチケットを 2 枚取ってくれました。同じミュージシャンのファンと知り合えた事も嬉しかったですが、次の一步を自分の力で歩み「これからの事」を前向きに考えてくれたのが一番うれしかったです。人は目標があると頑張れるのだと思いました。



路上生活からアパートへ

命への思いをつなぐ

2025 年 1 月 13 日岐阜県土岐市で野宿している人の具合が悪くなり、近隣に住む女性が 119 番通報しましたが、救急車は出勤しなくて、翌日の早朝橋の下で亡くなりました。その事件は新聞に掲載され土岐市が記者会見しましたが亡くなった人への謝罪はありませんでした。

そのまま何事もなかったように時間が経ちましたが、それではいけないと思い、仲間と共に土岐市への抗議文を作成し、全国の野宿者を支援している団体に呼びかけましたら北海道から北九

土岐市役所に
抗議をする東岡



州までの 26 団体と 18 名の個人が賛同してくれました。岐阜市で野宿者を支援している人と



路上にて
亡くなられた

もつながりその方と現役の野宿している人を含めて 5 名で土岐市役所の市長あてに 2 月 18 日に抗議文を手渡しました。「個人のミスだけで終わらずに行政全体でこの事件を改善してください」と伝えました。抗議文は加藤市長自ら受け取られ話し合いの場も設けていて「この事をしっかり受け止めて改善していきます」と言ってくれました。この事件をきっかけにして東海三県でも野宿者を支援している各団体が集まり、連携し交流していこうと強く思いました。

編集 後記

なかなか「おっちゃんだより」が出せなくてすいません。越冬期間中の昨年 12 月 30 日に名古屋市錦で、今年 2 月 4 日河川敷で、野宿している人が凍死されました。本当に「私たちは何をやっているのだ・・・」とむなしくなります。それでも皆さんに支えられているので頑張っこれから活動していきます! 応援よろしくお願いします。